切日本国特許庁(JP)

13 特許出顧公開

四公開特許公報(A)

昭63-209936

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

④公開 昭和63年(1988) 8月31日

B 32 B 35/00

6122-4F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

94年明の名称

伸縮性材料の布状シートへの間歇的貼付装置

②特 願 昭62-43129

塑出 顧 昭62(1987)2月27日

⁶⁰ 発 明 者 浜 中 売 明

広島県広島市西区観音新町4丁目6番22号 三菱重工業株

60 発明者 中原 孝

式会社広島研究所内 治 広島県広島市西区観

広島県広島市西区観音新町 4 丁目 6 番22号 三菱重工業株

式会社広島製作所内

郊発 明 者 石 田

敏 三

広島県広島市西区観音新町 4 丁目 6 番22号 三菱重工業株

式会社広島製作所内

⑪出 願 人 三菱重

三菱重工集株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目5番1号

⑪出 願 人 ユニ・チャーム株式会

愛媛県川之江市金生町下分182番地

社

砂代 理 人

弁理士 岡本 重文 外2名

最終頁に続く

明報の書

1 (発明の名称)

伸縮性材料の布状シートへの間歇的貼付装置

2 (特許請求の範囲)

3 (発明の詳細な説明)

(産業上の利用分野)

本発明は紙おむつのエラステイツク工程等に使 用される仲緒性材料の布状シートへの間歇的貼付 装置に関するものである。

(従来の技術)

従来の紙おむつのエラスティック工程に使用さ

れている伸縮性材料の布状シートへの間歇的貼付 **装漉を餌 2. 3 図により税明すると。(01)が仲縮** 性材料,(04) が転写ドラム,(02) が同転写ドラム (04)の外周面に設けた多数の吸気孔、(03) が同転 写ドラム(04)の外周面に円周方向に間隔を置いて 取付けた下刃。(05) が上記転写ドラム(04)に内接 する吸気ダクト、(06) がロータリカツター、(07) が布状シート。(08) が圧着ベルトで、接着剤の塗 布された伸縮性材料(01)が体長された状態で転写 ドラム(04)へ供給されて、吸気孔(02)により吸着 され、カツター(06)位置に選して、ロータリカツ ター(06)の上刃と転写ドラム(04)の下刃(03)とに より切断される。このとき、仲縮性材料(01)のう ち。吸気孔(02)により吸着されていない部分が縮 んで、仲籍性材料(01)が転写ドラム(04)上に間歇 的に配置される。次いでこの仲植性材料(01)が布 状シート(07)の供給位置に達し、同伸縮性材料(0 1)と転写ドラム (04) 上へ供給された布状シート (0 7) とが圧着ベルト(08)により転写ドラム(04)の方 向に圧着されて、互いが貼り合わされ、圧着ベル ト(08)の回転方向下流側から転写ドラム(04)外へ排出されるようになっている。

(発明が解決しようとする問題点)

前記第2.3図に示す従来の作縮性材料の布状シートへの間歇的貼付設置では、間歇的に取付けられる伸縮性材料(01)の前後の間隔が伸縮性材料(01)の縮みにより与えられるので、伸縮性材料(01)が縮み代分だけ無駄になる。また転写ドラム(04)とロータリカツター(06)との速度比が1対3で、ロータリカツター(06)の上刃が1枚であるのに対して転写ドラム(04)の下刃(03)が3枚になっており、これら上下刃の刃合わせ調整が面倒であった。

(問題点を解決するための手段)

本発明は前記の問題点に対処するもので、ドラム外周面の円周方向所定間隔位置にスリットとクランプ装置とが設けられ且つドラム内全域が吸気される転写ドラムと、布状シート供給装置と、伸縮性材料切断装置と、布状シートを転写ドラムの外周面から引き剝がす引制装置とを有し、上記各装置を転写ドラムに近接

わされ、伸縮性材料切断整置に達したとき、伸縮性材料のみが切断され、引刺装置に達したとき、布状シートと同布状シート上に間歇的に貼り合わされた伸縮性材料とが転写ドラムから引き剝がされて、次工程へ送られる。

(実施例)

して転写ドラムの回転方向下流例にその順に配設 したことを特徴としている。

本発明の目的とする処は、伸縮性材料の使用量 を節減できる。また刃合わせ調整を不要にできる 改良された伸縮性材料の布状シートへの間歇的貼 付聴置を供する点にある。

(作用)

置),(9)がニップローラ (引劍装置) である。なおニップローラ(3a)から転写ドラム(1) へ供給される布状シート(2) の供給速度は転写ドラム(1) の周速よりも早くなっている。

次に前記第1図に示す伸縮性材料の布状シート への間歇的貼付装置の作用を具体的に説明する。 転写ドラム(1) のスリツトがA位置に達すると。 布状シート(2) がニツプローラ(3a)を経て転写ド ラム(1) の外間面に供給されて、吸着される。ま たスリツトがB位置に速すると、布状シート(2) の一部がスリツトを経て転写ドラム(1) 内へ吸引 されて、リ字状部 (前後の体統性材料(5) に間隔 を形成するためのひ字状部)が形成される。また、 スリットがC位置に達したとき、クランプ装置(4) が閉じて、ロ字状部の外周面側がクランプさ れる。またスリツトがD位隊に途すると、仲長さ れ且つ転写ドラム(1) 個片面に接着剤の塗布され た伸縮性材料(5) がニップローラ(8b)を経て転写 ドラム(1) の外周面に供給され、B位置を遺過す るときに、プレスローラ(8)により伸縮性材料(

特爾昭63-209936(3)

5)が布状シート(2)のU字状部を除く部分に圧 着されて、互いが貼り合わされる。またスリット がド位置に達すると、ロータリカッター(7)により伸縮性材料(5)のみが切断される。またスリットがの位置に達すると、布状シート(2)と両衛性材 シート(2)上に関数的に貼り合わされた伸縮性材 料(5)とがダンサーローラ(8)とニップローラ(8)とにより転写ドラム(1)から引き剝がされて、 次工程の対象をは、布状シート(2)と伸縮性材 へ送られる。なおダンサーローラ(8)に、 U字状部が開放されるときに、下降して、次工程 へ送られる複合材(布状シート(2)と伸縮性材料 (5))の独みを防止する。

(発明の効果)

本発明の伸縮性材料の布状シートへの間歇的貼付装置は前記のように転写ドラムのスリットが布状シート供給装置に連したとき。布状シートを転写ドラムの外周面に供給、吸着し、次いで布状シートの一部をスリットを経て転写ドラム内へ吸引して、 U字状部 (前後の伸縮性材料に間隔を形成するためのU字状部)を形成し、次いでクランプ

的貼付装置を示す側面図、第3図は同間歌的貼付装置の転写ドラムの一郎を示す正面図である。
(1) ・・・転写ドラム、(2)・・・布状シート、(3 a)・・・布状シート供給装置、(4)・・・クランプ装置、(3b)・・・伸縮性材料供給装置、(6)・・・プレスローラ、(7)・・・伸縮性材料切断装置、

(8)(9)···引刷验置。

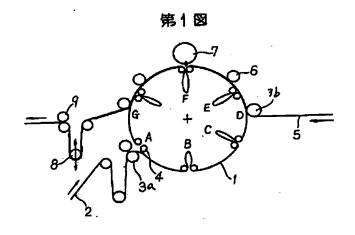
第2 関は従来の仲縮性材料の布状シートへの関歇

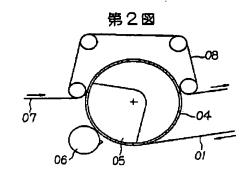
代理人弁理士岡本重文外2名

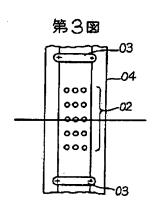
塾置を閉じて、U字状部の外周面側をクランプし、 帅縮性材料供給婆證に達したとき、伸長され且つ 転写ドラム側片面に接着剤の盤布された伸縮性材 料を転写ドラムの外周面に供給し、次いで伸縮性 材料を布状シートのU字状部を除く部分に圧着し て、互いを貼り合わせ、仲総性材料切断装置に達 したとき、伸縮性材料のみを切断し、引制装置に 達したとき。布状シートと同布状シート上に間歇 的に貼り合わされた伸縮性材料とを転写ドラムか ら引き剝がして、次工程へ送るようにしており。 間歇的に取付けられる伸縮性材料の前後の間隔を 上記ひ字状部により形成できて、前記従来のよう に間歇的に取付けられる伸縮性材料の前後の関係 を仲鎔性材料の縮みにより与える場合に比べると、 伸縮性材料の使用量を節減できる。また上記のよ うに伸縮性材料のみを切断するので、刃合わせ調 整を不要にできる効果がある。

4 (図面の簡単な説明)

第1図は本発明に係わる伸縮性材料の布状シートへの間歇的貼付装置の一実施例を示す側面図。







第1頁の続き

②発 明 者 鈴 木 磨 愛媛県川之江市川之江町834番地 ユニ・チャーム株式会 社国光事務所内

②発 明 者 越 智 光 三 愛媛県川之江市川之江町834番地 ユニ・チャーム株式会 社国光事務所内

②発 明 者 中 野 省 二 愛媛県川之江市川之江町834番地 ユニ・チャーム株式会 社国光事務所内